

第 39 回 一宮市地域公共交通会議議事録

【開催日時】

令和 5 年 8 月 2 日（水） 9 : 30～12 : 00

【開催場所】

一宮市役所本庁舎 11 階 1102 会議室

【傍聴人】

8 人

【議事内容】

1. 開会

・本日の議題にある、第 3 次一宮市公共交通計画の策定については、名古屋大学の当研究室で支援し、委員の皆さまにも議論いただいている。また、午後からは住民懇談会を予定している。ただの要望ではなく、沢山の利用が必要であり、その結果として地域の活性化につながることを重要であると考えている。そのため、本当に利用があるところはどこか、行動変容が可能な内容は何か、把握し検討するために、住民懇談会を各連区で開催している。それから、この数日、タクシーの値上げが報道されているが、乗務員不足が深刻である。貴重な乗務員を確保した中で、利用しない路線を運行することはできない。リアルに移動に困っている方、そのような方の想いを汲み取った公共交通の再編に臨んでいる。本日は傍聴者が多く参加いただいているため、改めてご理解をお願いしたい。つきましては、一宮市での公共交通に関するセミナーを誘致し、次週に開催する予定のため、関心のありそうな方をお誘い頂き、一宮をどう変えていくか議論するきっかけとして頂きたい。

2. 議題

協議事項

(1) i バス一宮コース停留所の位置変更について

・事務局より資料説明

《質疑応答》

- ・事前資料と、どこが変更になったか。

→停留所変更予定の日付を更新した。8月7日を予定している。(事務局より回答)

→一時移動ではなく、恒久的な移動である。(会長より追記説明)

《協議結果：承認》

報告事項

(2) 公共交通に関する住民懇談会について

- ・事務局より資料説明

《追加説明》

・要望を聞く場ではなく、具体的に、どのような移動が必要か、どのような使われ方をするか、本当に利用するのか、議論している。必要であれば、現場を見に行く、追加で話しをお聞きするなどして改善していく。そのため、改善・再編には、時間がかかるが、このような進め方をしている。(会長)

《質疑応答》

- ・基本的には、全ての連区で開催することで良いか。

→全ての連区で開催する。(事務局より回答)

- ・議員の参加は可能か。

→地域によっては、発言しにくい方が出てくることも考えられるため、地元からの事前了承は得た方が良く考える。慎重にとらえていただきたい。(名古屋大学より回答)

《意見・要望》

・住民懇談会に参加した。町会長、女性などの参加があった。どこのスーパーに行きたい、あそこの病院に行きたいなどの意見交換ができた。そのほか、以前は運行していたバスが利用者の減少により、廃止されたといった情報も共有できた。また、バスの利用方法が分からない方がいた。不満も含め多くの意見が出たため、もう少し議論の時間が必要と感じた。また、新しい方にも参加していただくことも大事であると感じた。名古屋大学

のアンケート調査に関しては、実施する季節によって、回答が変わってくるのではないかと考える。参加者は、活発に意見を発言していたので、また開催していただきたい。

・尾西地域の懇談会に参加したが、3つの班で、全くことなる生活状況であった。それぞれで検討していくことが重要である。新しい気づきもあり、尾西地域も、見直しが必要ではないかと考える。計画の中には盛り込めないが、議論を継続的に実施する必要がある、内容が具体化してきたときに、計画の改定を行えばよいと考える。想像以上に、考えることが多い地区であると感じた。住民懇談会は、傍聴も可能であるため、ご興味ある方は参加していただきたい。住民懇談会では、B紙に行きたい場所や内容を記載している。こちらを見ていただくと、更に意見が出てくるのではないかと。市役所に保管しているため、お問合せいただければよい。

・尾西のチラシを拝見した。公共交通に乗ったことがない方に聞いても、自動車しか知らないため、有効な意見は出てこないのではないかと。千秋町の住民懇談会では、利用者にも参加してもらうように、依頼している。大事な地域、課題が大きい地域については、2回目、3回目、次年度以降も重要であると考えている。

・参加者について、各連区の懇談会は、バスの利用者もお聞きしたいが、幅広くご意見いただくため、町内会長の代表である連区長に相談させて頂き、推薦をお願いしている。老若男女の参加を依頼している。町会長組織とは別に、地域づくり協議会があるが民生会、児童育成協議会の部会があり、性別・年齢層が幅広い方々が参加されているため、こちらにも調整をお願いしている。

・乗り込み調査を実施すると、ある程度満足している方が多く、生活を現在のバスダイヤに合わせているため、ルートやダイヤを変えてほしくないとの意見が多い。そのため、現在の利用者も維持しながら、新しい需要も見出す必要がある。市民アンケートでは、広く市民の意見のみとなり、通常のコソナルタントへの委託では、このような調査が多いが、名古屋大学では住民懇談会を開催し、地域の方と一緒に議論している。バス利用者だけでなく、バスを利用しない方にもバス運行に対して理解をいただくことも重要であり、連区ごとに小さい形で開催している。

・事務局への要望であるが、各意見については、性別や年代の情報も分かると良いが、どうか。例えば、若い方の意見であれば、将来を見据えたまちづくりにもつながるのではないかと考える。

→個人の意見が出てきて、周りの方もいいよねと同意した意見が多いため、個別意見で属性は取っていない。(会長より説明)

→記録を取るファシリテーターからすると、一つ一つに属性を記載することは不可である。このテーブルには、どのような方が参加していたかの情報提供は可能であると考え。 (名古屋大学より説明)

・議員の参加は、率直な意見を直接聞いていただく事が重要であるため、本来は、参加していただく事も重要である。

・テクニカル的に難しい場合は仕方ないが、出来る限りお願いしたい。議員の傍聴については、是非参加したほうが良いと考える。

・議員はぜひ、参加してほしいと考える。

・どの年齢がどの意見を出したかは分からないが、アンケート調査で年齢・性別などを回答しているため、把握できるのではないか。

・アンケート調査は、名古屋大学の学生の研究として実施している。懇談会については、事務局である程度参加者を把握しているのではないか。

→氏名、年代までは記載していただいているため、データは所有している。(事務局より説明)

・懇談会への参加者の人選は重要である。

・意見の年代的偏りについて懸念されていると思うが、住民懇談会には大学生や子育てしている 30~40 歳代など若い方も参加いただいている。そのため、高齢者の割合は多いが、町内会長のみ意見ではないことは伝えておく。

協議事項

(3) 第3次一宮市公共交通計画について

・事務局より資料説明

○事業群④「iーバスミニのリニューアル等による外出支援」、事業群⑧「持続可能な運行確保のための取組」について

《意見・要望》

・一宮市は38万人という中核市であり、公共交通ネットワーク形成が難しい状況になりつつある。iーバスミニは、移動が困難、交通が不便なエリアにあるが、このようなエリアが増加してくると考えられ、目標としては非常に高い目標である。iーバスミニは、現在6つのエリアを担当しており、名鉄タクシー1社で運行している。他社にも参加していただきたいが、人員不足であり無理であると回答いただいている。運賃は、基本料金と1メーター程度であり、春に運賃改定を行い、給料面での待遇改善を行ったところである。浅井連区については、江南の車両が来ることが望ましいと考えており、通常のタクシー営業を認めてほしいと当局へ依頼している。全国でどこも出来ていないため、難しいことも承知しているが、関係者の理解を得て、進めてきたい。事業者の課題を丸投げせず、積極的に進めていき、一宮市の再編が全国のモデルとしたい。このように不便エリアの解消に向けて取り組んでいきたい。

・事業者からの積極的なご発言、取組は大変貴重である。iーバスミニのような運行は、もともと江南市が約20年前に開始され、全国に広がった。このころは、タクシー車両に余裕があったため、対応できていた。しかし、近年はタクシー車両が少ないため、時代に即していない運行である。一方で、利用者の使い勝手も良くない状況である。アリのバイ的な運行になっており、今回の計画で方向性を示していく必要がある。

・大和町・萩原町と千秋町の2コースを運行している。ドライバー不足はバスもタクシーも深刻である。そのため、数年前までは、他社はライバルであったが、近年は協業して助け合い、地域・市民の目線でサービス提供していく目線に代わってきている。お互い協力しあい、事業者としてドライバー不足を解消していきたい。協力しあうことで、良い公共交通としていきたい。

・協力しあうことで、サービス維持、向上につなげていくことが重要である。ご意見いただいた通り時代が変わってきている。

・この会議に参加して、はじめてiーバスミニを知った。現場を見たが、確かに利用しにくい状況にある。2024 問題も関係あるのか。

・2024 問題は、更に問題が大きいと考える。地域でどうやって公共交通を守っていくのか、どのように高齢者が通院するのか、これから高齢者の足をどう確保していくか、悩ましい問題であり、社会として考えていく必要がある。

・千秋町ではiーバスミニの利用者は0人である。これからのためにも、残してほしいが、利用者がいない状況で継続してもらえるのか。

・月に30件、特定の方の利用に限られている。本当に必要な方にサービスが提供できているのか。一宮市に限らず、全国どこにでもある課題であり、会議でも議論を継続すべきである。

・例えば、月に4人の利用がある場合は、1人の利用か、4人が1回ずつかなど、事務局は、現状をきちんと把握できていないのではないかと考える。

・本当に移動困難な方に使っていただく交通は、残しておくべきだと考える。

・知らない方が多いから利用者数が少ないのか、不便だから利用者が少ないのか、両方の結果からであると考え。現在の状態で残していくのは勿体なく、新計画でももう少し使い勝手が良い交通としていく必要があると考える。昨日も他都市での地域公共交通会議に参加しており、このような議論をした。デマンドも運行しており、電話予約よりもスマホ予約の方が運賃を安くしたところ、高齢者の7割がスマホ予約となった。駅まで直通運行の要望もあるが、1～2人のために貴重な乗務員を確保できない状況であり、バスへの乗り換えをお願いしている。このように、全体的なバランスを見ながら、多様な工夫を行い、地域の公共交通を守っている。一宮市においては、他都市よりもバス本数が多いため、恵まれている部分もある。拠点をつくる、iーバスミニの改善、路線の維持など、パッケージで取り組んでいく内容である。例えば、浅井地区で拠点を設け、公共交通の乗り換えできるようにする。

・福祉タクシーとは関係ないのか。対象を 90 歳から 85 歳に年齢を引き下げたことは評価したい。

・関係があるかどうかではなく、関係づけるかどうかである。

・現在は、福祉施策として実施しているが、公共交通と福祉タクシーを一体として考えていくべきか、検討しないといけない事項である。

・他部署での施策であるためこの会議で決断できる施策ではないが、知らない間に無くなってしまわないよう、この計画でも位置づけてはどうかと考える。

・市の施策が網羅できているかチェックは必要であり、指摘をお願いしたい。福祉と公共交通は縦割りであるが、利用者視点からの連続性が失われていることが問題であると考え。元気なうちは公共交通を、その次は i バスミニ、次は福祉交通であるが、これらの福祉交通も実施しているため安心できることが重要である。i バスミニや福祉タクシーなどは、セイフティネットであり、利用者が多いから良いわけではない。また、この計画の目標は、地域の交通の潜在能力を高めることである。潜在のため、顕在するかは分からない。そこは、市民一人ひとりが判断でき、選択できることが重要である。そのため、利用が少ないことよりも、そもそも知らないことが問題である。知ったことで外出機会が増加するなど、こちらが重要である。市民が使えることを知っているか、利用したい人が利用できているか。アンケート調査などでは把握できない内容であり、定量的な抑えは難しい。市民同士で議論したり、教えあったりできる環境づくりも重要である。

・現在の i バスミニは使い勝手が悪く、システムの問題があると考えており、もう少し改善することで、利用していただけるのではないかと考える。計画に「潜在能力」、「一官が秘める潜在能力を発揮」など盛り込んでどうか。

・潜在能力について、14 ページの基本方針の説明文章の中に、盛り込めれば良いのではないか。

○事業①ー 3 「路線バスのルート改善」について

《質疑応答》

・光明寺線と丹陽線のルート改善について、最寄り駅への接続ができていないとの記載があるが、地元の駅との認識で良いか。

→光明寺線についてはJR木曾川駅、丹陽線については稲沢駅。(事務局より説明)

《意見・要望》

・具体的に進めていく光明寺線、丹陽線は、分けて具体的に記載する必要がある。

○事業②-1 「一宮駅の拠点機能の強化」について

《質疑応答》

・一宮駅周辺での賑わいの中に、新たなモビリティについて、具体的にどのような内容か教えていただきたい。

→現時点では具体的な交通はないが、今後、幅広い観点で考えていく。(事務局より説明)

《意見・要望》

・スケジュールに記載ある5年間協議について、新しいモビリティなど具体が分からない内容は意味がないため、削除すべきである。文章として記載するのは良いが、施策として入れる必要はない。

○事業③-2 「お得で便利な乗車券の提供」について

《意見・要望》

・おでかけ手形についても、ここに記載してはどうか。

→ご提案通り、追加する。(事務局より回答)

○評価指標について

《意見・要望》

・歩行者数について、イベントの有無によって変わると思う。また、公共交通を利用していただいた方の視点を盛り込めるか。

→別部署で調査している数値である。公共交通からの視点との意見があり、申し込める

か検討したい。(事務局より回答)

・ウオーカブルについては、他部署で検討し実施していることである。この計画で議論できないことはきちんと明確化して、市役所内で連携していただきたい。

○基本方針に基づく実施事業について

《質疑応答》

・目的地の増設については、出来ればよいが、際限ないのではないか。実施可能か。また、警察協議はどのような協議を想定しているのか。⑥商業施設や民間施設との連携について、他都市ではイオンなどとの連携があるが、そのような施設との連携はどのような想定か。

→ iーバスミニの目的地増加については、商業施設や医療施設、利用者などからも要望があり、検討したいと考えている。新モビリティの警察連携については、新しいモビリティはこれから検討していくが、道路の使われ方も踏まえて議論する必要があるため、警察も掲載している。商業施設や病院との連携については、民間敷地の活用なども含め、協議できればと考えている。(事務局より回答)

《意見・要望》

・施策一覧に具体的に記載しすぎると分かりにくくなるため、系統別のシートに飛ばすことも考えられる。iーバスミニのリニューアルについては、目的地の増設などが1つ。もう1つが、外出支援の拡充、3つ目が福祉タクシー券の記載としてはどうか。

・計画の施策のコンテンツは非常に大事であり、「優先事業」ではなく「先行」「重要」としてはどうか。「先行施策」について、多くが令和6年で検討となっているが、市民からも見えることが重要であるため、すぐに始められる施策については、6年度から実施してはどうか。「重要施策」について、例えばiーバスミニの運行方法の検討などは、議論が重要でありすぐに改善は難しい。これは重要施策となる。現在の記載方法では、地域で盛り上がっていることが見えてこない。

○評価指標の過去推移について

《質疑応答》

・33 ページ表中の利用者数 400 万人の推移と、行政負担の金額の推移が異なるが、理由は何か。

→コロナの影響により、赤字が増えた部分を行政負担しており、令和 2 年に行政負担が増加している。また、燃料費の高騰の影響もある。(事務局より回答)

○公共交通の位置づけ・望ましいサービスについて

《意見・要望》

・17 ページ、幹線と準幹線について、一宮駅から岩倉駅や江南駅への路線が準幹線と定義されているが、これは幹線ではないか。目標もある程度達成できており、利用者も多く、潜在的資源としても大きい路線であると考え。現状では、夜間に運行本数が少ないが、運行さえしていれば利用者も増加するなど、潜在的な利用が見込める路線であると考え。近隣自治体と関連する重要な路線でもある。検討していただきたい。

→幹線、準幹線の位置づけについて、地域の生活拠点を結ぶ路線を準幹線としている。2 路線については、検討したい。(事務局より回答)

・岩倉線は、本当に 60 分間隔で良いのか、議論ができていない。

○事業①ー 2 「幹線的バスのサービスレベル強化」について

《質疑応答》

・夜間時間帯の運行確保の時間は、どの時間を指しているのか。

→22 時台を想定している。(事務局より回答)

○事業③ー 3 「バリアフリー化の推進」について

《質疑応答》

・バス停までのバリアフリーについて、利用したいが利用できないバス停が多くある。担当課に申し入れしたが、なかなか対応されていない。そのあたりどう考えるか。

→どのような方でも利用いただける施設とする必要があると認識している。課題整理を行い、検討していきたい。(事務局より回答)

《意見・要望》

・バリアフリーについては、他部署で検討し実施していることである。この計画で議論できないことはきちんと明確化して、市役所内で連携していただきたい。

○参考資料：住民懇談会について

《意見・要望》

・連区別の懇談会の結果から出てくる課題は、1ページずつ作成していただきたい。各路線については、鉄道も含めて路線カルテを作成してほしい。特に、光明寺線の延伸など具体的な方向性も記載する。これをアップデートして地域で共有し、検討する材料として活用する。地域協議会の立ち上げは、カルテがあってからこそである。地域懇談会から発展し、地域協議会へつながるように、どのように実装していくのか、フィードバックの仕組み記載してほしい。

・住民懇談会は誰が参加しているのかの質問は、本当に住民の声が聞けているのかという問いかけである。役所の担当者も、現場で声を聴いていない。しかし、38万人都市で、ここまで運行できているのは、大変頑張っていると考ええる。

・住民懇談会の内容から、計画策定だけではなく、地域でどのように進めていくのが重要である。千秋町や萩原町でのこれまでの経験が広がり展開されることである。

○系統別カルテについて

《質疑応答》

・路線の役割、望ましいサービス、今後の可能性などについて記載することになるのか。
→交通事業者と協力し、作成していただきたい。(会長より回答)

○最後に

・1週間以内を想定し、各委員からご意見を追加で事務局へお願いしたい。今後の進め方は、事務局と調整する。本日の会議でいただいた意見をもとに、更に見直しを進めることとしたため、この項目については決議なしとする。(会長より説明)

3. その他

- ・8月9日に公共交通活性化セミナー開催を予定している。ぜひ、参加いただきたい。
- ・姫路駅は、北口は一般車乗り入れを禁止し、バスとタクシーのみとした。姫路城が真正面に見え、歩行者が歩きやすい空間となった。一宮駅も、素晴らしい空間になるよう、是非参考にして頂きたい。

4. 閉会